

大賞聖地の恋人に二俣橋

美里町の石橋 九州初の受賞

川面に見える♡ SNS映え



アーチに差す日光が水面に反射してハート形に見えることで知られる美里町の石橋「二俣橋」が、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）の「恋人の聖地」の「恋人の聖地」観光交流大賞」に選ばれた。2015年から「恋人の聖地」での優れた取り組みを表彰しており、九州での受賞は初めて。

二俣橋は、江戸時代末期に緑川支流の合流点に設けられたL字形の双子橋の総称。町によると、10月2



月の正午前の30分間に第1橋の「二俣渡」に差し込む光が川面を照らし、第2橋の「二俣福良渡」からハートを見ることができ

恋人の聖地は、同法人が認定するプロポーズにふさわしい観光地で、二俣橋は11年に認定された。観光交流大賞には71件の応募があり、平昌冬季五輪スピードスケート女子で二つの金メダルを獲得した高木菜那さんら7人が審査。二俣橋は、会員制交流サイト（SNS）映えするビジュアルなどが評価されたという。

5月末に東京で授賞式が開かれ、町担当者が表彰状を受け取った。担当者は「受賞はさらなる認知度向上につながる。10月になったらぜひ訪れて」とPRしている。

同法人によると、恋人の聖地は全国で139カ所あり、県内では二俣橋のほかにも恋路島を臨む親水公園（水俣市）、球泉洞（球磨村）が認定されている。

（古川大一）

●美里町の二俣橋に10～2月の正午前の30分間だけ現れる光のハート
 ●5月に東京であった「恋人の聖地観光交流大賞」の授賞式